

平成23年度（第55回）  
岩手県教育研究発表会資料

家庭／技術・家庭

# 高等学校「家庭基礎」における 課題解決学習の指導に関する研究

—「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成を通して—

平成24年2月14日  
岩手県立総合教育センター  
長期研修生  
所属校 岩手県立大船渡高等学校  
川原恵理子

## 目 次

I	研究目的	1
II	研究の方向性	1
III	研究の内容と方法	1
1	内容と方法	1
2	調査・授業実践の対象	1
(1)	調査対象	1
(2)	授業実践の対象	1
IV	研究結果の分析と考察	2
1	高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想	2
(1)	高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本的な考え方	2
(2)	「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の学習指導	2
2	「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成	3
(1)	指導資料作成の視点	3
(2)	高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想図	4
(3)	指導資料の内容	4
3	「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を活用した授業実践の概要 及び結果の分析と考察	6
(1)	基本構想に基づく指導資料の活用場面と調査計画	7
(2)	生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した授業実践の概要	8
(3)	授業実践結果の分析と考察	11
(4)	指導資料の改良	15
V	研究のまとめと今後の課題	16
1	研究のまとめ	16
2	今後の課題	17

<おわりに>

【引用文献】

【参考文献】

## I 研究目的

新学習指導要領高等学校家庭科における課題解決学習は、生徒の思考力・判断力・表現力の育成のための重要な学習方法である。新学習指導要領の改善の具体的事項においても、「家庭科の学習を実際の生活と結び付け、課題解決学習を行うホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動については一層充実させる」としている。「ホームプロジェクト」とは生徒自身の家庭生活について、「学校家庭クラブ活動」とは学校や地域の生活について、それぞれの課題を見出し、自ら解決方法を考え、計画を立て、主体的に生活の充実向上を目指して実践する学習活動のことである。

しかし、現行の学習指導要領にもその内容が示されているものの、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導に苦慮している教師は少なくない。これは、単位数の少ない「家庭基礎」の履修校の増加にともない、教師が学習内容の精選や実習時間の削減などにより、指導時間の確保の難しさを感じていること、さらに、授業に活用できる資料が不足していることが一因として考えられる。

このような状況を改善するためには、高等学校家庭科の「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導において授業に活用できる資料を作成し、課題解決学習の指導を支援することが必要である。作成する指導資料には、県内高等学校家庭科教員の指導の実態調査を土台とし、取組手順や方法、事前・事後指導の要点、取組の中間指導方法、短時間でできる発表会や相互評価の方法などを盛り込む。「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導に苦慮している教師を支援することで、生活を科学的に探究する方法や思考力・判断力・表現力の育成の一助とする。

本研究は、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成を通して、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導の充実に役立てようとするものである。

## II 研究の方向性

「家庭基礎」における課題解決学習の指導の充実に役立てるため、次の2点から成果と課題を明らかにする。

- 1 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を作成する。
- 2 指導資料を活用し、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の授業実践を行う。

## III 研究の内容と方法

### 1 内容と方法

- (1) 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想の立案（文献法）
- (2) 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成（教材開発法，文献法）
- (3) 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を活用した授業実践の概要及び結果の分析と考察
- (4) 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する研究のまとめ

### 2 調査・授業実践の対象

#### (1) 調査対象

高等学校家庭科の学習指導に関するアンケート調査：高等学校家庭科教員43名  
指導資料に関するアンケート調査：高等学校家庭科教員5名

#### (2) 授業実践の対象

岩手県立大船渡高等学校 普通科 第1学年 全6学級のうち3学級117名（男子54名，女子63名）

#### IV 研究結果の分析と考察

高等学校「家庭基礎」において課題解決学習の指導の充実に役立てるため、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導で活用する指導資料を作成した。ここでは、研究の基本構想、指導資料の作成、指導資料を活用した授業実践の概要と分析・考察の結果を述べる。

##### 1 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想

高等学校「家庭基礎」における課題解決学習は、生徒の思考力・判断力・表現力の育成のための重要な学習方法である。課題解決学習の指導に関する基本構想について、「基本的な考え方」、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の学習指導」から述べる。

###### (1) 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本的な考え方

高等学校「家庭基礎」では、家庭科の学習で学んだ知識と技術を生かして、各自の家庭生活や地域の生活を見つめ、主体的に課題を見出し、これを改善充実しようとする積極的な態度を育てることをねらいとしている。

課題解決学習について、舟木（1992）は「児童生徒ひとりひとりが主体的に総合的に生活に対処していくためには、生活における問題解決力の育成が必要である。そのための学習方法として、家庭科においては課題解決学習が重視されている。」と述べており、その学習方法については、課題を設定する、解決方法の検討をする、解決のための計画を立てる、課題を解決する、反省・評価する、生活へ生かす、という学習指導過程が一般的である。工藤・内野（1997）は問題解決学習とは「生活上の問題を学習課題として設定し、その解決を目指して計画を立案し、資料の収集、調査、観察や実験、実習などの活動を通して解決を図っていく学習方法である。（中略）それらを意図的に共通の課題として仕組むようにしたものが課題解決学習である。」と述べている。これらのことから、本研究では、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習とは、教師が生徒に生活課題を見出すことを意図的に仕組み、主体的に生活の課題解決を目指して実践する学習活動ととらえる。

###### (2) 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の学習指導

平成21年4月告示の新学習指導要領では、「家庭科の学習を実際の生活と結びつけ、課題解決学習を行うホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動については一層充実させる」としている。「ホームプロジェクト」とは生徒自身の家庭生活について、「学校家庭クラブ活動」とは学校や地域の生活について、それぞれの課題を見出し、自ら解決方法を考え、計画を立て、主体的に生活の充実向上を目指して実践する学習活動のことである。

ホームプロジェクトの学習活動は、全国高等学校家庭クラブ連盟（2008）によると、See（問題発見）－Plan（計画）－Do（実施）－See（反省・評価）という流れにそって進められる。この学習活動はアメリカのキルパトリックらによって提唱された学習活動で、プロジェクト・メソッドという。これは「学習する生徒自身が自発的に計画し（Plan）、実践して（Do）、具体的な成果を伴う（See）学習活動」のことである。さらに、その学習活動の流れを記録し、レポートにまとめて発表会などで他者に報告し、評価するという活動である。

学校家庭クラブ活動の学習活動は、家庭科を学習している生徒一人一人が家庭クラブ員となり、家庭科の授業やホームルームを一つの単位として、学校ごとに活動するもので、教科以外の生徒会や部活動とは性質が異なる。学校家庭クラブ活動の学習活動は、全国高等学校家庭クラブ連盟（2008）によると、「委員会型」や「授業活用型」があり、各学校の実態に合わせて活動を進める。平成11年3月告示の学習指導要領から2単位科目の「家庭基礎」が設置された

が、その学習内容にも、学校家庭クラブ活動の指導に当たっては、家庭科の授業の一環として、計画、立案、参加させると示されている。また、学校家庭クラブ活動を実践することによって、「家庭基礎」の学習内容で習得した知識と技術を、学校や地域の場に活かすことができ、問題解決能力と実践的態度の育成はもとより、ボランティア活動など社会参画や勤労への意欲を高めることができる」と示されている。

これらのことから、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の学習指導を一層充実させるためには、生徒自身の家庭生活や学校・地域の生活に関心を持たせ、教師が生徒に生活課題を見出すことを意図的に仕組み、主体的に生活の課題解決を目指すことをねらいとした指導資料の作成が必要である。

## 2 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成

高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導の充実に役立てるため、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を作成する。この指導資料のねらいは短時間で充実した「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導ができることである。「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成について、作成の視点、基本構想図、指導資料の内容から述べる。

### (1) 指導資料作成の視点

指導資料の内容を充実させる目的として、平成23年度岩手県高等学校教育研究会家庭部会の教員43名に、高等学校家庭科の学習指導に関する実態調査を実施した。その結果によると、家庭科教員が指導の充実のために必要な指導資料は、【表1】に示すように「授業で取り組ませることができる学校家庭クラブ活動の実践例」と「ホームプロジェクトの事前指導の授業展開例」であることが分かった。

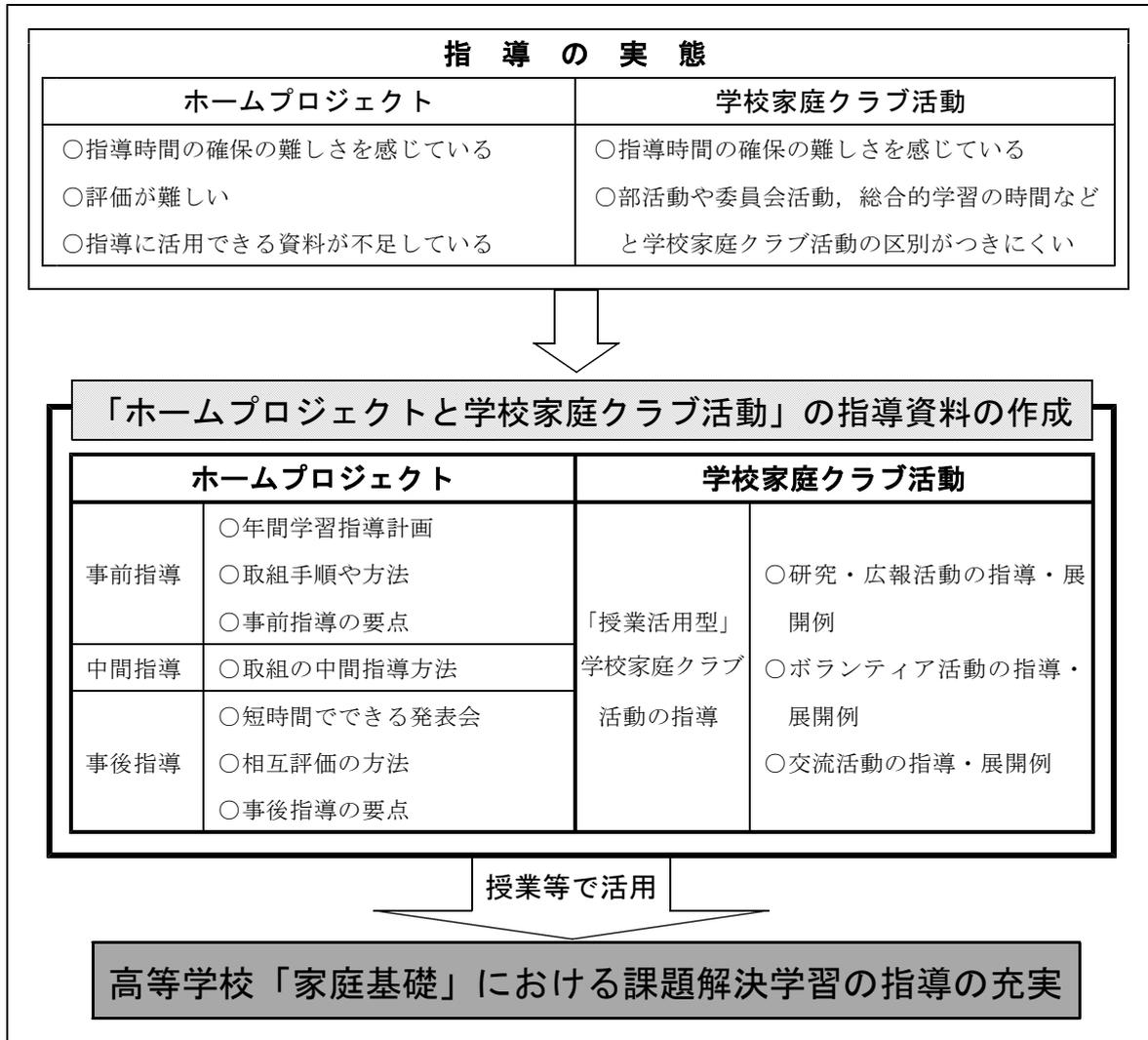
【表1】高等学校家庭科の学習指導にするアンケート調査結果 (N=43 1人三つまで回答)

指導の充実のために、どのような指導資料や情報があるとよいと考えられるか	回答数
授業で取り組ませることができる学校家庭クラブ活動の実践例	31
ホームプロジェクトの事前指導の授業展開例	22
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動を重視した年間学習指導計画（シラバス）	15
学校家庭クラブ活動の進め方	11
ホームプロジェクトの事後指導の方法例	10
ホームプロジェクトの中間指導の例	6
ホームプロジェクトの発表会の学習指導案と評価の計画	5

この実態調査結果を踏まえ、「授業で取り組ませることができる学校家庭クラブ活動の実践例」と「ホームプロジェクトの事前指導の授業展開例」を内容に盛り込んだ指導資料を作成した。ホームプロジェクトについては、教師の指導段階を、「事前指導」、「中間指導」、「事後指導」として、それぞれの段階ごとに指導資料を作成した。「事前指導」の段階では、ホームプロジェクトの取組手順や方法を理解させ、生活課題を見出させることをねらいとした。学校家庭クラブ活動については、「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導例を盛り込んだ指導資料を作成した。学校家庭クラブ活動の活動内容である「研究・広報活動」、「ボランティア活動」、「交流活動」ごとに指導例をあげ、「授業活用型」学校家庭クラブ活動の展開例を作成した。

(2) 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想図

高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想図を【図1】に示す。「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を活用することで、課題解決学習の指導の充実につながることを構想した。



【図1】 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想図

(3) 指導資料の内容

指導資料の内容は、実態調査で指導の充実のために必要な指導資料としてあげられた内容を盛り込んだ。【表2】は作成した指導資料の目次である。この指導資料は、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」を指導する際に使用するものである。ホームプロジェクトの指導では、指導資料の一部として、生徒に授業で活用させる生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を作成した。生徒用教材「私のホーム

【表2】 指導資料の目次

1	「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」を盛り込んだ年間学習指導計画
2	生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」と解説（取組手順や方法，事前・事後指導の要点）
3	取組の中間指導方法
4	短時間でできる発表会
5	相互評価の方法
6	「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導・展開例

プロジェクトファイル」の教師用解説を作成し、その中に取組手順や方法、事前・事後指導の要点を盛り込んだ。

生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」は、ポートフォリオのまとめ方を活用した。ポートフォリオとは、書類入れやファイルを意味する言葉で、生徒の活動や学習のプロセスをまとめてファイルに入れて保存する方法である。生徒にクリアファイルを1冊ずつ用意し、ホームプロジェクト実施の際に、集めた資料、写真など記録したものはこのクリアファイルに保存させた。ホームプロジェクト実施後にファイルの中身を整理し、活動を振り返ることで自分の成長を把握することができると考えた。

【図2】【図3】は「事前指導」で活用した生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」の一部である。【図2】は生徒自身の家庭の生活課題を考えさせるための生活課題チェック表である。この生活課題チェック表は、中学校技術・家庭科家庭分野の四つの学習内容を参考にして五つの領域に分けて作成した。「事前指導」のホームプロジェクトの題目を設定する段階では、生徒に家庭生活への関心を持たせる必要がある。武藤(1998)は「ホームプロジェクトの実施には題材設定の段階に十分な時間をかけて配慮することが求められ、生徒が題材とした学習内容からどのように関わり合い、認識を高めようとしているかを注目し支援する必要がある」としている。生徒自身に家庭生活への関心がなければ、家庭での生活課題は見出しにくい。「事前指導」の段階では、ホームプロジェクトの取組手順や方法を理解することだけでなく、生活課題チェック表で生徒自身が生活を振り返ること、生徒自身が家庭生活で行っている家事労働について考えさせることに重点をおいて指導し、家族の一員として家庭生活での生活課題を見出させることをねらいとした。

【図3】は家庭科の領域ごとに生徒自身の生活課題と改善点を見出させるための教材である。

See 2		自分の家庭の生活課題を考える	
1 家庭の生活課題チェック表			
はい  いいえ			
子ども・家庭科	1	普段から家の手伝いをしている	
	2	家族とのコミュニケーションを大切にしている	
	3	自分の将来を考えている	
	4	子どもの習い事について考えたことがある	
	5	家族はみんな健康である	
食生活	6	食べ物の好き嫌いをせず、何でも食べている	
	7	自分の服しぼいや洗濯をするところがある	
生活	8	部屋の整理を自分でやることのできる	
	9	1日に必要な食品の種類と量がわかる	
自立	10	冷蔵庫の中は整理整頓されている	
	11	自分でボタン付けができる	
衣生活	12	1日分の洗濯物を洗濯機で洗っている	
	13	洗濯物の乾かしの方法を理解している	
自立	14	衣服のタグの意味を理解している	
	15	着なくなった服は再利用しようとしている	
住生活	16	自分の部屋の整理整頓はできている	
	17	家の各部屋は掃除機で掃除できている	
生活	18	家の中に危険なモノや子どもに対して危険な箇所はない	
自立	19	非常時の持ち出し品の準備ができている	
	20	非常時の対策をしている(家具を固定するなど)	
消費生活	21	我が家の1ヶ月の生活費がどれくらいか知っている	
	22	お小遣い帳をつけている	
生活	23	さまざまな販売方法があることを知っている	
環境	24	商品を選ぶときは実用的なものを選んでいる	
	25	環境に配慮した生活をしている	
集計			
(結果) チェック終了後、はいの数はいくつありましたか			
A (17~25) 充実した生活を送っています。さらに工夫することでよりよい生活を目指すことができます。自分が興味ある領域で題目を考えてみましょう			
B (9~16) 少しの工夫で改善できることがあるかもしれません。特にいいえが多かった領域で実践できる題目を考えてみましょう			
C (0~8) どの領域も題目として考えられます。特に自分が気になっている点があれば改善できる方法を考え、題目を設定しましょう			
2 あなたが自分の家庭生活で行っている家事労働をあげなさい			
①			
②			
③			
今日の学習でわかったこと		自己評価	
.....		ホームプロジェクトの学習活動を知ることができたか A B C D	
.....		家庭生活の中で生活課題を見出すことができたか A B C D	
.....		A: できた B: どちらかというとできた C: どちらかというとできなかった D: できなかった	
.....		教師の評価・所見	
.....		A B C 記入漏れあり再提出です	

【図2】生活課題チェック表

See 3		家庭生活の生活課題の改善点を探す	
年 組 番 氏 名			
1 DVD「よくわかるホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」(全国高等学校家庭クラブ連盟)を見てわかったことを記入する			
.....			
.....			
.....			
2 領域ごとに自分の生活課題を考え、記入する			
家族・家庭と子どもの成長		食生活と自立	
			
衣生活と自立		住生活と自立	
			
消費生活と環境		非常時に備えて	
			
3 2で見出した生活課題から取り組みたい題目を考える			
取り組みたい題目			
.....			
どのように生活課題を改善したいか			
現在		改善後	
.....		.....	
		➡	

【図3】領域ごとの課題と改善点の発見

この教材も中学校技術・家庭科家庭分野の四つの学習内容を参考にして、五つの領域に分けて作成した。災害時の対策を考えるために、「非常時に備えて」という領域も追加した。領域ごとの生活課題を見出させた後に、ホームプロジェクトで取り組みたい題目をあげさせ、改善後の家庭生活をイメージさせる教材とした。

【図4】【図5】は「事後指導」で活用する生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」の一部である。【図4】はホームプロジェクトの発表用教材である。短時間で発表会を実施することを考え、生徒自身が取り組んだホームプロジェクトの実施内容と、その結果を中心に発表させるように作成した。ホームプロジェクトの取組を今後の生活につなげさせるため、家庭生活向上のためにできることとして提言シートを盛り込み、最後にまとめとして発表させる教材とした。

【図5】はホームプロジェクトの今後の生活課題と改善点を考えさせるための教材である。生徒自身が取り組んだホームプロジェクトを振り返り、今後の生活課題の改善へつなげさせることを考えて作成した。発表をしてホームプロジェクトを終わりにさせるのではなく、生徒自身が取り組んだホームプロジェクトを題目設定から振り返って見直し、今後の生活課題や改善案を考えさせることで、ホームプロジェクトをこれからの生徒自身の家庭生活に活かしていくことができるように作成した。

See 5		ホームプロジェクトを発表する	
年 組 番 氏 名			
○発表用レポートの作成 2分以内で自分のホームプロジェクトを発表できるように内容をまとめる 「提言シート」では家庭生活向上のためにできることを発表する			
1 題目→p.4を参考に記入する 私は、  という題目で、ホームプロジェクトを実施しました			
2 実施内容（実物、写真があれば提示する）→p.5～8を参考に記入する			
ホームプロジェクト実施内容 →p.5, 6を参考に記入する		ホームプロジェクト実施後 →p.7, 8を参考に記入する	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p> </div>	
→		このようになりました	
3 提言シート			
家庭生活の向上のためにできること			
<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px;"> <p>.....</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; width: 80%; margin: 0 auto; padding: 5px;"> <p>.....</p> </div>	
のために		を実行します	

【図4】発表用教材

See 8		今後の生活課題と改善点を考える							
年 組 番 氏 名									
1 ホームプロジェクト全体を通しての反省をする （題目設定から相互評価まで振り返る）									
<p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>									
2 ホームプロジェクトの成果をあげる									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">1</td><td>.....</td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">2</td><td>.....</td></tr> <tr><td style="width: 20px; text-align: center;">3</td><td>.....</td></tr> </table>				1	.....	2	.....	3	.....
1	.....								
2	.....								
3	.....								
3 今後の生活課題と改善点を考える									
今後の生活課題									
<p>.....</p> <p>.....</p>									
改善点									
<p>.....</p> <p>.....</p>									
今日の学習でわかったこと		自己評価							
<p>.....</p> <p>.....</p>		<p>ア ホームプロジェクトの成果を考えることができたか A B C D</p> <p>イ 今後の生活課題を見つけ、その改善点を考えることができたか A B C D</p> <p>A: できた B: どちらかというとできた C: どちらかというとできなかった D: できなかった</p>							
<p>.....</p> <p>.....</p>		<p>教師の評価・所見 A B C 記入漏れあり再提出です</p>							

【図5】ホームプロジェクトのまとめ

### 3 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を活用した授業実践の概要及び結果の分析と考察

基本構想に基づいて作成した指導資料に関して「指導の使いやすさと改善点」を考察するため、教師を対象としたアンケート調査を行った。その後「教材を活用した学習指導のわかりやすさ」を考察するため、授業実践と生徒を対象にアンケート調査を行った。「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を活用した授業実践の概要及び結果の分析と考察について、「生徒用教材の活用場面」、「調査計画」、「授業実践の概要」、「分析と考察」から述べる。

(1) 基本構想に基づく指導資料の活用場面と調査計画

ア 生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」の活用場面

指導資料の有用性について調べるため、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した授業実践を行った。生徒のSee（問題発見）－Plan（計画）－Do（実施）－See（反省・評価）の学習段階に合わせ、教員の指導段階を、「事前指導」「中間指導」「事後指導」とした。

「事前指導」では、生活課題チェック表や領域ごとの生活課題と改善点の発見から、生活課題とその改善点を見出させることをねらいとした。「中間指導」では、休業中に指導の時間を設定して、ホームプロジェクトの取組に疑問を抱いた生徒や意欲的に取り組もうとしている生徒へ助言を行った。「事後指導」では、生徒自身が取り組んだホームプロジェクトを発表させ、相互評価をさせ、今後の生活課題と改善点を考えさせることで、これからの生徒自身の家庭生活に活かしていくことをねらいとした。生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」の活用場面を【表3】に示す。

【表3】生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」の活用場面

教師の指導段階	生徒の学習段階	学習内容	生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」の活用場面
事前指導	See (問題発見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクトの学習活動を理解する</li> <li>自分の家庭の生活課題を考える</li> <li>家庭生活の生活課題の改善点を探す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクトの学習活動を理解させる</li> <li>家庭の生活課題チェックをさせる</li> <li>領域ごとの生活課題と改善点を見出させる</li> </ul>
	Plan (計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活課題を改善するための計画を立てる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題目選択と実施計画の立案をさせる</li> </ul>
中間指導 (課外)	Do (実施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームプロジェクトを実施し、内容をまとめ、反省・評価をする</li> </ul>	(夏季休業中、取組に疑問を抱いている、または意欲的に取り組もうとしている生徒への助言)
事後指導	See (反省・評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のホームプロジェクトについてまとめ、発表する</li> <li>他者の発表を聞き、相互評価をする</li> <li>今後の生活課題と改善点を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>提言シートを記入させ、ホームプロジェクト発表をさせる</li> <li>相互評価をさせる</li> <li>ホームプロジェクトを見直し今後の生活課題と改善点を考えさせる</li> </ul>

イ 調査計画

作成した指導資料の有用性を確認するために対象を教員と生徒に分けて調査し、分析と考察を行った。調査計画を【表4】に示す。

【表4】調査計画

調査内容	対象	調査方法	処理・解釈の方法
指導資料の使いやすさ、改善点について	教員	質問紙法 自由記述	事後に調査し考察する
教材を活用した学習指導のわかりやすさについて	生徒	質問紙法 自由記述	事前・事後に調査し考察する

(2) 生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した授業実践の概要

授業実践は、岩手県立大船渡高等学校普通科，第1学年全6学級のうち，3学級117名（男子54名，女子63名）を対象に平成23年7月8日（金）～9月6日（火）に8時間ずつ実施した。ホームプロジェクトの指導の間に、「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導を1時間盛り込んだ。学校家庭クラブ活動では，学校や地域の生活に役立つものづくりを学習のねらいとして，クールネクタオルの製作を指導した。このクールネクタオルは岩手県立総合教育センター川地里美研修指導主事が考案したものである。中学校技術・家庭研修講座家庭コースの演習題材を参考に，「授業活用型」学校家庭クラブ活動の題材として活用した。このクールネクタオルは，中学校までに学習した電動ミシンでの直線縫いの技術を活用して製作できる。完成したクールネクタオルは，夏季休業中に家庭クラブ員が，市内の特別養護老人ホーム「富美岡荘」へ届け，職員の方々に使用していただいた。夏季休業中には，中間指導として3日間設定し，ホームプロジェクトの取組に疑問を抱いている，または意欲的に取り組もうとしている生徒に対し，助言を行った。授業実施日と学習内容を【表5】に，授業実践の概要を【資料1】に示す。

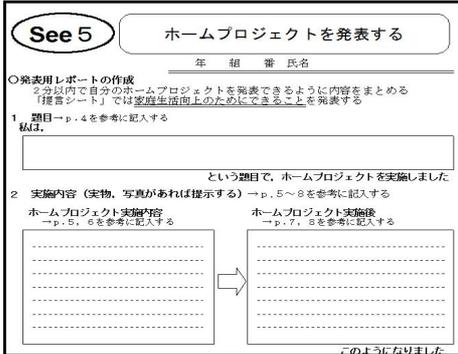
【表5】 授業実施日と学習内容

時	授業クラスと実施日			学 習 内 容
	1-1	1-3	1-5	
1	7月12日	7月19日	7月8日	See 1 ホームプロジェクトの学習活動を理解する See 2 自分の家庭の生活課題を考える
2	7月12日	7月19日	7月8日	See 3 家庭生活の生活課題の改善点を探す
3	7月19日	7月19日	7月22日	Plan 1 生活課題を改善するための計画を立てる
4	7月19日	7月19日	7月22日	「授業活用型」学校家庭クラブ活動 学校家庭クラブ活動の意義を理解し，地域生活に役立つものづくりに挑戦する
課外	7月29日，8月4日，8月5日			(中間指導)
5	9月5日	8月24日	8月19日	See 4 ホームプロジェクトの反省・評価をする
6	9月5日	8月24日	8月19日	See 5 ホームプロジェクトを発表する
7	9月6日	8月31日	9月2日	See 6 ホームプロジェクトを評価する See 7 相互評価をする
8	9月6日	8月31日	9月2日	See 8 今後の生活課題と改善点を考える

【資料1】 授業実践の概要

時	教師の指導段階	生徒の学習段階 学習内容	教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した指導の場面	
			教師の支援	生徒の様子・記述
1	事前指導	See 1 ホームプロジェクトの学習活動を理解する	教材「私のホームプロジェクトファイル」の使い方を理解させる  ホームプロジェクトの意義，学習活動を理解させる	「私のホームプロジェクトファイル」に学習内容を記入していた  〈記述〉ホームプロジェクトを通して，自分の今の生活，これからの生活に役立つ力を身に付けられることがわかった



時	教師の指導段階	生徒の学習段階 学習内容	教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した指導の場面	
			教師の支援	生徒の様子・記述
4	「授業活用型」学校家庭クラブ活動	学校家庭クラブ活動の意義を理解し、地域生活に役立つものづくりに挑戦する	<p>学校家庭クラブ活動には地域社会の生活課題に取り組む活動があることを理解させる</p> <p>クールネックタオルの製作手順を理解させる</p> 	 <p>地域社会の生活課題にはどのようなものがあるか考えていた</p> <p>意欲的にものづくりをしていた</p>
課外	中間指導	Do 実施	<p>夏季休業中、取組に疑問を抱いている、または意欲的に取組もうとしている生徒への助言指導（3日間）</p>	<p>中間指導では述べ14名の生徒が助言を受けた</p>
	学校家庭クラブ活動		<p>授業で製作したクールネックタオルは、夏季休業中に家庭クラブ員が市内の特別養護老人ホームへ届けた</p>	<p>授業で製作したクールネックタオルは、夏季休業中に家庭クラブ員が市内の特別養護老人ホームへ届けた</p>
5 6 7	事後指導	See 4, 5 自分のホームプロジェクトについてまとめ、発表する	<p>発表の際に必要な資料、写真、実物があるときには紹介することを伝える</p> <p><b>ホームプロジェクト発表</b></p> 	<p>発表用レポートに発表する要旨をまとめていた</p> <p>〈記述〉発表を聞いて様々な発想があって自分の視野が広がった</p> <p>〈記述〉結果から、問題点や部屋の状況をきちんと把握しながら取り組んだことで理想の部屋にすることができたのだと実感した</p>

時	教師の指導段階	生徒の学習段階 学習内容	教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した指導の場面	
			教師の支援	生徒の様子・記述
5 6 7	事後指導	See 6, 7 他者の発表を聞き相互評価をする	付せん紙を配布し、評価の方法を理解させる。誹謗中傷などは書かず、良かった点を記入することを確認する	発表から良かった点を付せん紙に記入し、発表者の相互評価シートに貼っていた
				
8	事後指導	See 8 今後の生活課題と改善点を考える	「私のホームプロジェクトファイル」に目を通し、全体を通しての反省をさせる  <b>ホームプロジェクトをまとめる</b>  See 8 今後の生活課題と改善点を考える 年 組 番 氏 名 1 ホームプロジェクト全体を通しての反省をする (題目設定から相互評価まで振り返る) ..... ..... ..... 2 ホームプロジェクトの成果をあげる 1 ..... 2 ..... 3 .....	「私のホームプロジェクトファイル」にホームプロジェクトの成果を記入していた  〈記述〉家族の協力がだんだんと得られ、意識が高まってきたことが目に見えて感じ取ることができた  新たな生活課題とその改善点を考えていた  〈記述〉実施して自分の周りで大きく影響したと思う。新しい生活課題がたくさんあるので継続していきたい

(3) 授業実践結果の分析と考察

調査内容は、「指導資料の使いやすさ、改善点について」「教材を活用した学習指導のわかりやすさについて」である。事前・事後に調査し、考察する。その結果、それぞれについてプラスの変容がみられ指導資料を活用した学習指導は効果があったと考えられる。以下に詳細を示す。

ア 指導資料の使いやすさについて

作成した指導資料に関して「資料の使いやすさ」を調査するため、高等学校家庭科教員5名にアンケート調査を実施した。指導に活用していただいた指導資料は、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」、題材の指導計画・評価計画(案)、学習指導案である。教材「私のホームプロジェクトファイル」の使いやすさについては、5名中4名が「使いやすかった」、1名が「どちらかというと使いやすかった」と回答した。次頁【資料2】は、教員の自由記述による回答の内容である。指導資料について、授業が進めやすく使いやすかったと回答している。特に、事前指導の段階については有用性に関する記述を得ることができた。一方、発表会は実施しなかったと3名が回答しており、事後指導の方法について短時間でできる発表の方法や相互評価の方法など、改善点に関する視点を得ることができた。これらのことから「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の学習指導において、この指導資料が有用であり、さらに改良することにより有用性が高まると考えられる。

【資料2】教員の自由記述による回答（N=5）

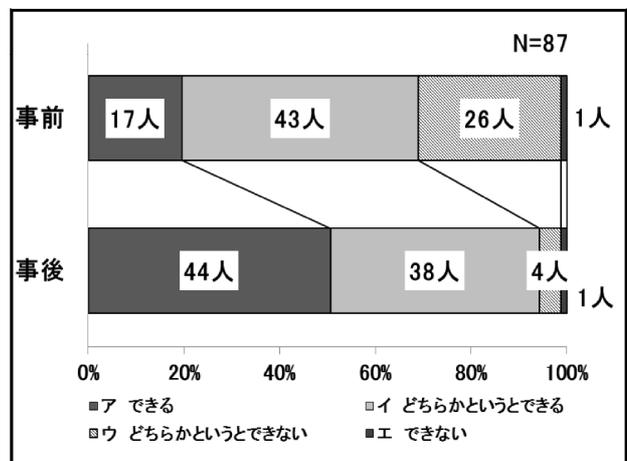
- ・例年よりも事前説明は丁寧にできた
- ・生徒は家庭生活の改善点や改善方法をスムーズに立てていた
- ・ファイルとして一冊にまとまっていることで、生徒は見通しを持ちながら進めることができた
- ・教材に沿って効率的に指導することができた
- ・進め方が単純明快だったため、全員取組良好だった
- ・食物分野の専門の生徒でも問題を多方面から考えられるような教材で、同じテーマを選ぶ生徒がほとんどいなかった点が良かった
- ・事前指導の段階でホームプロジェクトについてとてもよくわかり、自分自身も勉強になった
- ・事後指導の段階で、評価、まとめがしやすく進めやすかった

イ 教材を活用した学習指導のわかりやすさについて

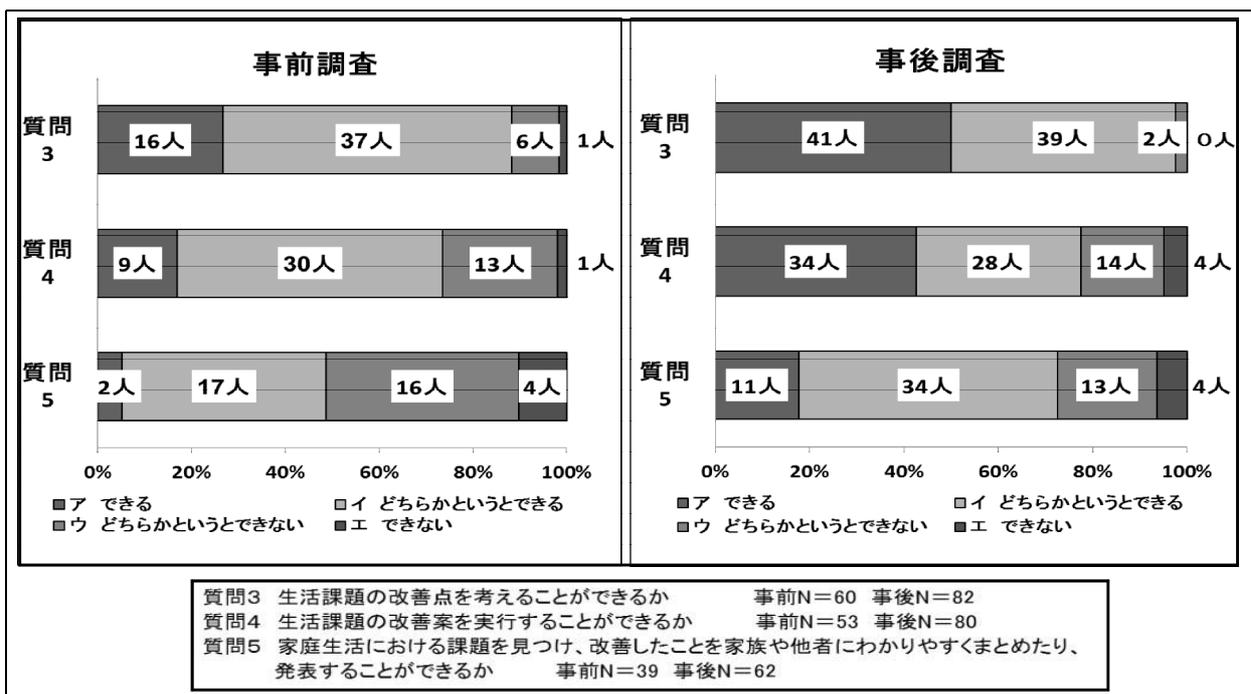
作成した生徒用教材に関して「教材を活用した学習指導のわかりやすさ」を調査するため、生徒に事前・事後のアンケート調査を行った。

【図6】は「自分の家庭生活から生活課題を複数あげることができるか」という質問の回答である。「生活課題をあげることができる」、「どちらかというところできる」と回答した生徒は事前調査69%から、事後調査94%に増加した。

【図7】は、各質問の事前調査と事後調査の結果である。質問3「生活課題の改善点を考えることができるか」は、【図6】の質問で、「生



【図6】生活課題を考えること



【図7】教材を活用した学習指導のわかりやすさに関する事前・事後調査結果

活課題をあげることができる」、「どちらかというところできる」と回答した生徒のみが回答している。事前調査、事後調査とも生活課題をあげることができる」と回答した生徒のほとんどが改善案も考えることができた」と回答している。特に、「できる」と回答した生徒は、事後調査で増加した。質問4「生活課題の改善案を実行することができるか」は、質問3の質問で、「改善案を考えることができる」、「どちらかというところできる」と回答した生徒のみが回答している。事後調査では「できる」と回答した生徒が増加している。「どちらかというところできない」、「できない」の生徒が事前調査よりも増加しているのは、計画通りに進められなかったり、途中でホームプロジェクトの題目を変更して実施した生徒がいたためと考えられる。また、他の生徒の発表を聞き、「もっと実施できることがあった」、「もっと工夫すれば良かった」などの記述があり、今後の生活課題の改善への取組に活かすことを考えさせる指導をする必要があった。質問5「家庭生活における生活課題を見つけ、改善したことを家族や他者にわかりやすくまとめたり、発表したりすることができるか」は、質問4の質問で「改善案を実行することができる」、「どちらかというところできる」と回答した生徒のみが回答している。「できる」、「どちらかというところできる」と回答した生徒は事後調査で増加した。ホームプロジェクト発表でみんなの前で発表できたことで、「できる」、「どちらかというところできる」と回答した生徒が増加したと考えられる。「できなかった」、「どちらかというところできなかった」と回答した生徒は、「うまく伝えられなかった」、「もっと工夫して発表すれば良かった」などの記述があり、ホームプロジェクト発表前に、発表の方法について詳しく指導をする必要があった。

【資料3】は、「この学習活動は、これからどのような場面で役立てることができるか」という質問に対する記述である。これからの学習や苦手教科の学習など、他教科の学習に結び付けた記述や、全体の学習を振り返り、計画を立てて実行することや発表することという記述が多く見られた。

【資料3】課題解決学習をどんな場面で役立てるかの記述 (N=87)

- ・日々の生活の中で役立てられる (18)
- ・今後の生活の中で生活課題を見つけたときにこの学習方法が役立てられる (6)
- ・今後の学習でこの学習方法が役立てられる (6)
- ・自分の苦手な教科の勉強をするときに役立てられる (4)
- ・今後一人暮らしをするときに役立てられる (4)
- ・他者の前で発表をするときに役立てられる (3)
- ・普段の生活で自分の生活課題が見つかったときに自分自身の力で解決できるようになる
- ・問題を考えて改善案を発見し、計画をして、最後に反省することは何事においても大切である
- ・すべてのことにおいて問題を見つけてそれに対する計画を立てることは大切である
- ・この学習方法は問題を発展して考えられるのでどの教科でも役立てられる

これらのことから、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用した学習指導が、生徒に家庭生活に関心を持たせ、意図的に仕組んだことによって生活課題を見出させ、その改善案を実施させるために有用であったと考えられる。

ウ 教材を活用した学習における生徒の記述

作成した生徒用教材を活用した学習における生徒の記述を次頁【表6】に示す。

【表 6】教材を活用した学習における生徒の記述

教師の 指導段階	生徒の 学習段階	生 徒 記 述
事前 指 導	See 2 (問題発見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームプロジェクトの進め方が分かった。ホームプロジェクトとは何なのか、どんな力をつけることができるのかを知ることができた</li> <li>・ホームプロジェクトの意味と学習のやり方を理解することができた</li> <li>・ホームプロジェクトとは生活課題を見つけ、実施することだと理解することができた</li> </ul>
	See 3 (問題発見)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善点を見つけ、それをどのように改善していくかを考えることができた</li> <li>・家の中で反省することや生活課題が多くあった。改善すべき点がまとまったのでそれを改善するための方法を考えたい</li> <li>・自分の家庭の生活課題を見付け、ホームプロジェクトで取り組みたいことも見付けられた。生活課題についてもっと考え、計画をしっかり立てたい</li> </ul>
	Plan 1 (計 画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活課題を改善するための計画をしっかり立てることができたので実行したい</li> <li>・自分のしたいことをするために手順を落ち着いて考えることができたのでしっかりと計画を立てることができた</li> <li>・具体的に実施計画を作って見直したことでこれからどうすればいいのかよくわかり、今後の行動についても考えることができた</li> </ul>
中間 指 導	D o (実 施)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の家の危険な所を知ることができた。家からの避難経路を確認できた</li> <li>・部屋が見違えるほどきれいになり、マンガ棚の整理もできた</li> <li>・家の夕食の問題点を探して自分の力で解決させることができてよかった</li> <li>・自分なりに工夫し、空き箱をリサイクルして入れ物を作って活用することができたのでよかった</li> <li>・アクリルたわしは、使わなくなった毛糸から作る物なので地球にも財布にも優しい。実用的な物を作ることができてよかった</li> <li>・机の上をきれいにし、そのためにどうすればよいか自分で探して実行することができた</li> </ul>
事後 指 導	See 8 (反省・評価)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のホームプロジェクトの改善点や今後の生活課題が分かった</li> <li>・自分のホームプロジェクトは反省すべき点がたくさんあった。もっと改善できる点が見付かったのでこれから取り組んでいきたい</li> <li>・発表ではいろいろなホームプロジェクトがあり、どれもわかりやすかった。ホームプロジェクトの良かったところ、改善点も見付けることができた</li> <li>・今考えてみると、もっと取り組みやすいものや、今自分に必要なことが見えてきたので、これからは個人的に少しずつでも自分の生活を改善していけるように頑張りたい</li> </ul>

生徒の記述からは、ホームプロジェクトに取り組んだことにより、生徒自身の家庭の生活課題に気が付いたことや、改善案を考え実行することができたことを確認できた。「これからも続け

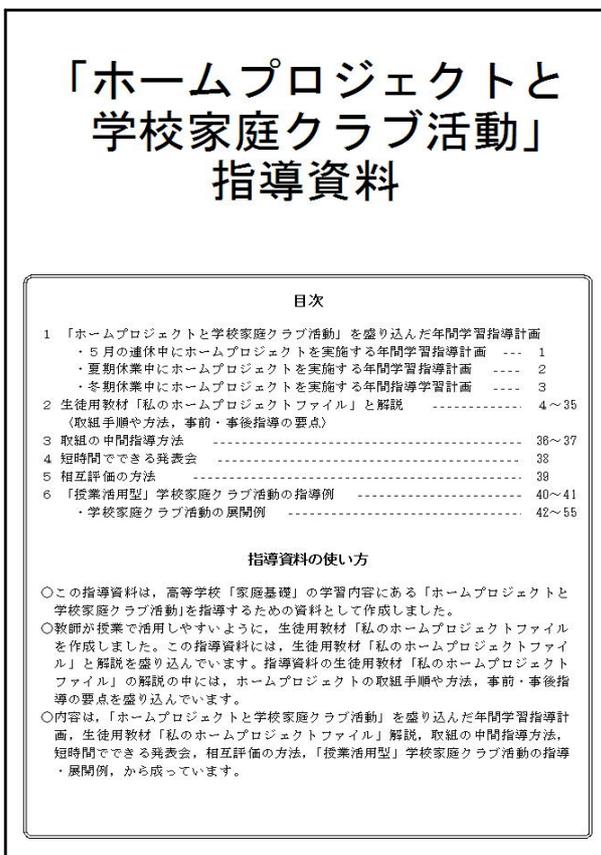
たい」、「今度は他の題目でも取り組みたい」などの、ホームプロジェクトの取組を今後の生活に役立てる記述もみられた。これらのことから、生徒用教材を活用した学習指導により、生徒は家庭生活に関心を持ち、教師が意図的に仕組んだことで生活課題を見出し、その改善案を実施し、自分のこれからの家庭生活に役立てようとする意欲を持つことができるようになったと考えられる。その一方、「すべての生活課題を解決することは難しい」、「短時間では改善できなかった」という記述もみられ、ホームプロジェクトをこれで終わりにせず、継続して取り組ませる指導をしていく必要性を再認識した。

(4) 指導資料の改良

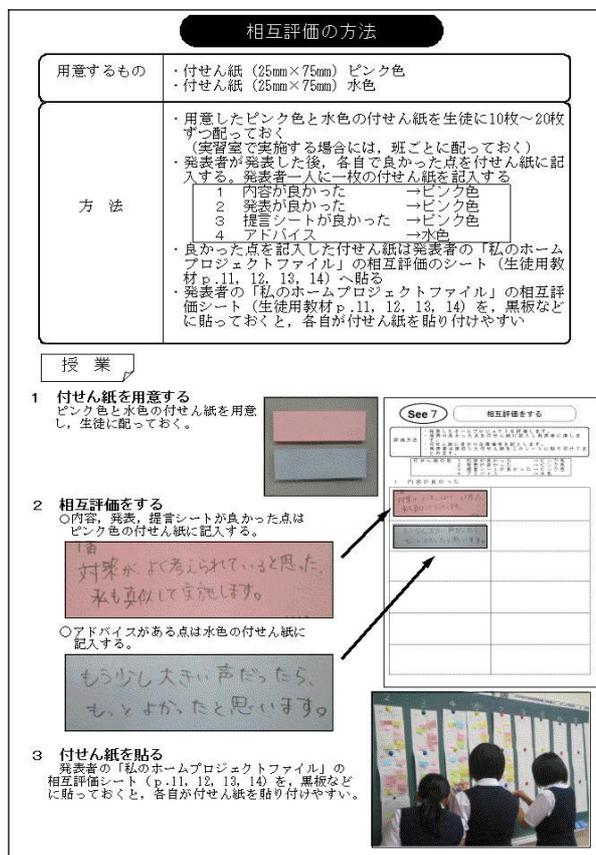
授業実践の結果の分析と考察から、今回指導に活用した、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」、題材の指導計画・評価計画（案）、学習指導案だけでは、教師を支援するには不十分であった。そこで、さらに課題解決学習の指導を充実させるために、指導資料の内容の改良を行った。授業実践後に、指導資料の「年間学習指導計画」、「取組の中間指導方法」、「時間でできる発表会」、「相互評価の方法」、「授業活用型学校家庭クラブ活動の指導・展開例」を作成した。

【図8】は指導資料の表紙である。指導資料の目次と、指導資料の使い方を説明している。表紙に掲載することで、活用しやすくなるように工夫をした。

【図9】は相互評価の方法である。ホームプロジェクトの発表を聞いた生徒が発表者を評価して付せん紙に記入し、相互評価シートに貼る方法である。付せん紙はピンク色と水色の二色を用意し、内容・発表・提言シートが良かった点はピンク色、アドバイスがある点は水色とし、一人の発表に対して一枚の付せん紙を選び、良かった点を記入することとして作成した。



【図8】指導資料の表紙



【図9】相互評価の方法

【図10】は、学校家庭クラブ活動の指導例である。高等学校「家庭基礎」の学習内容ごとに「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導例をまとめた。「研究・広報活動」には、研究や講習会、コンクールへの出品など、「ボランティア活動」には、校内・校外美化や募金・収集活動など、「交流活動」には、他校との交流や指導者養成講座への参加などを示した。

【図11】は、学校家庭クラブ活動の展開例である。「授業活用型」の指導を具体的に示すために、指導のねらい、準備する教材・教具、関連する活動・学習内容、製作後の活用、作り方、評価の例を盛り込んで作成した。

「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導例			
・「家庭基礎」における指導例			
活動内容	学習内容	指導例	展開例ページ
研究・広報活動	(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉		
	ア 青年期の自立と家族・家庭	・ホームプロジェクトの取組(生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」)	
	イ 子どもの発達と保育	・基礎縫いで小物づくり(コップ入れなど)を行い、保育施設へプレゼントする	42
	ウ 高齢期の生活	・カード・年賀状を作り、高齢者施設へ送る	43
	エ 共生社会と福祉	・地域の子育て支援、福祉サービスの調査を行う	44
	(2) 生活の自立及び消費と環境		
	ア 食事と健康	・全国高校生料理コンクール(全国高等学校家庭クラブ連盟主催)への作品を考える ・いわて秋鮭コンクール(岩手県漁連主催)への作品を考える ・牛乳・乳製品利用料理コンクール(社団法人日本酪農乳業協会主催)への作品を考える	45
	イ 被服と着装	・基礎縫いで小物作り(衣服の防虫剤入れなど)を行い、地域生活や校内で使用する	46
	ウ 住居と住環境	・カーテンタッセルを製作し、教室などで使用する ・基礎縫いで小物(香り袋など)を作り、校内のトイレに置く ・廃油でろうそく作りを行い、校内で非常時に備えておく	47 48 52
	エ 消費生活と生涯を見通した経済の計画	・牛乳パックなどを再利用してリサイクル品を作り、校内に設置する	42
オ ライフスタイルと環境	・基礎縫いで小物作り(アクリルたわしなど)を行い、校内に設置したり、地域生活に役立てたりする	50	
カ 生涯の生活設計	・男女共同参画社会、職業労働・家事労働など関連する内容で、N I Eの活動に取り組む	51	

【図10】学校家庭クラブ活動の指導例

**「授業活用型」学校家庭クラブ活動展開例**

カーテンタッセルを製作し、教室などで使用する  
授業時間：1時間

**指導のねらい**  
布を用いたものの製作を通して、室内環境を整える工夫を考えさせる

**準備する教材・教具**  
生地36cm×20cm2枚、ひも12cm4本、ミシン、アイロン、裁縫道具(手縫い場合は手縫い針と糸)

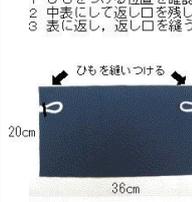
**関連する活動・学習内容**

活動内容	学習内容
ボランティア活動	(2)生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境

**製作後は**  
 校内で使用する  
 文化祭で作品を紹介する  
 地域の幼稚園や保育所、高齢者施設等の施設に持って行き、使っていただく

**作り方**(※手縫いでもミシンでも製作できます)

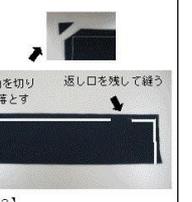
- 1 ひもをつける位置を確認し、縫いつける【図1】
- 2 中表にして返し口を残し、縫う【図2】【図3】
- 3 表に返し、返し口を縫う



【図1】



【図2】



【図3】

できあがり

**評価の例**  
※評価規準は平成25年度入学生から年次進んで実施される学習指導要領に合わせて作成している

方法	製作への取組状況
A	快適な住環境を整えるための工夫について、具体的に考えている
B	快適な住環境を整えるための工夫について考えている

【図11】学校家庭クラブ活動の展開例

## V 研究のまとめと今後の課題

### 1 研究のまとめ

本研究は、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導のため、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成と学習指導での活用を通して、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の学習指導の在り方を明らかにし、その充実に役立てようとするものである。

そのために、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想に基づき、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導に関する指導資料と、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を作成した。この指導資料と生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用することにより、短時間で充実した「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導を行うことが可能になった。教材を活用した授業実践を行った結果、生徒は家庭生活に関心を持ち、主体的に生活課題を見出し、その改善案を実施し、自分のこれからの家庭生活に役立てようとする意欲を持つことができるようになった。このことから、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導は、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料と、生徒

用教材「私のホームプロジェクトファイル」を活用して学習指導を行うことが有用であることを確認できた。

## 2 今後の課題

高等学校「家庭基礎」において課題解決学習の指導を充実させるためには、作成した「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の「授業活用型」学校家庭クラブ活動の展開例をさらに改良させていく必要がある。

生徒に家庭科の授業で学んだことを家庭生活で実践させるためには、学校家庭クラブ活動の指導において、教師が学校や地域生活の生活課題を見出させ、主体的に生活課題の解決を目指すことができる課題解決学習の指導が求められている。

<おわりに>

長期研修の機会を与えていただきました関係諸機関の各位並びに、所属校の諸先生方と生徒の皆様  
に心から感謝申し上げます。

### 【引用文献】

- 工藤悦子・内野紀子(1997),『家庭科の21世紀プラン 小・中・高等学校家庭科教育の新構想研究』,  
家政教育社, pp. 31-36
- 全国高等学校家庭クラブ連盟(2008),『新版 FHJ GUIDE BOOK ホームプロジェクト/学校家庭ク  
ラブ活動』, 財団法人 家庭クラブ, p. 5, p. 7
- 文部科学省(2010),『高等学校学習指導要領解説家庭編』, p. 4, p. 11, p. 19
- 武藤八重子(1998),『家庭科教育再考』, 家政教育社, p. 170
- 舟木美保子(1992),『家庭科教育辞典』, 実教出版, pp. 20-21

### 【参考文献】

- 天笠茂(2001),『ポートフォリオを生かした新しい教育実践と評価 「総合的学習の時間」で育つ  
子どもの生きる力』, 東洋館出版社
- 岩手県立総合教育センター(2007),『中学校技術・家庭科家庭分野 消費生活学習の手引 -私たち  
の消費生活と環境-』
- 岩手県立総合教育センター(2005),『子どもとのかかわり方学習』教材セット
- 岩手県立総合教育センター(2007),『中学校技術・家庭科家庭分野 消費生活学習の手引 教師のた  
めの-解説編-』
- 岩手県立総合教育センター(2010),『かんたん! 実験・実習』
- 岩手県立総合教育センター(2011),『平成23年度中学校技術・家庭研修講座家庭コース演習テキスト』
- 佐藤文子ほか(2004),『家庭科教育法』, 高陵社
- 鈴木敏恵(2003),『ポートフォリオでプロジェクト学習! メディアリテラシー「ケータイ電話」』, 教  
育同人社
- 全国高等学校家庭クラブ連盟(2008),『新版 FHJ GUIDE BOOK ホームプロジェクト/学校家庭ク  
ラブ活動』, 財団法人 家庭クラブ
- 田部井恵美子ほか(2002),『家庭科教育』, 学文社
- 中間美砂子(2004),『家庭科教育法-中・高等学校の授業づくり-』, 建帛社
- 中間美砂子ほか(2006),『家庭科への参加型アクション思考学習の導入』, 大修館書店
- 町田万里子(2001),『共につくる 家庭科授業-自分が変わる・まわりも変わる-』, 誠信社